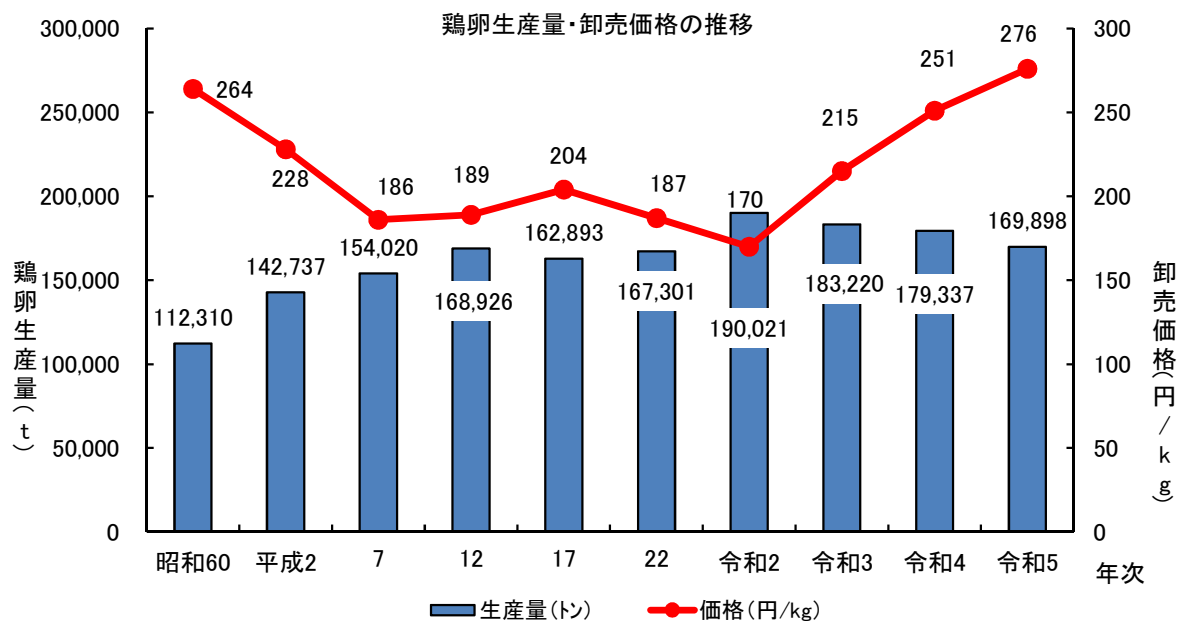
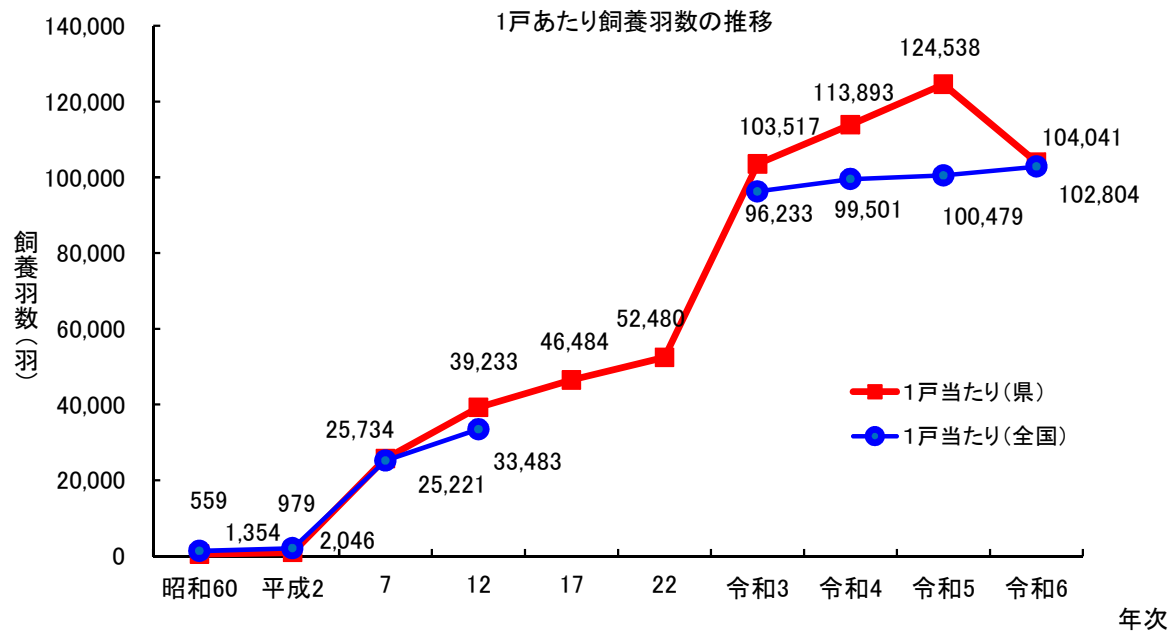
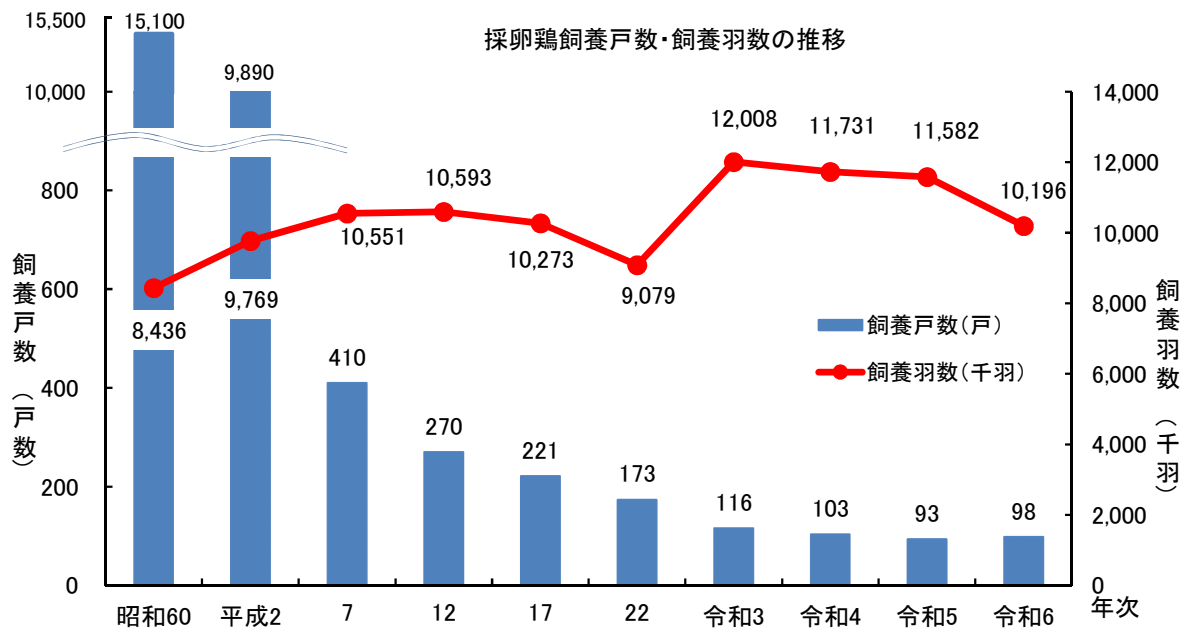


【(4) 養鶏】
ア 採卵鶏（レイヤー）

- ① 飼養羽数（令和 6 年 2 月 1 日現在）
- ・ 10,196千羽（対R5年比88%）
 - ・ 全国シェア6.0%（全国第 3 位）
- 【動向】 年々，増加傾向で推移していたが，令和 4 年からはやや減少。
- ② 飼養戸数（令和 6 年 2 月 1 日現在）
- ・ 98戸（対R5年比105%）
- 【動向】 年々，減少傾向で推移していたが，令和 6 年は増加。
- ③ 1 戸当たり飼養羽数（令和 6 年 2 月 1 日現在）
- ・ 104.041羽（対R5年比84%）
- 【動向】 1 戸当たりの飼養羽数は増加傾向で推移
- ④ 県内で鶏卵生産が盛んな地域（（ ）内は県シェア）
（令和 6 年 2 月 1 日現在）
- ・ 出水地区 2,926千羽（29%）
 - ・ 曾於地区 2,861千羽（28%）
 - ・ 川辺地区 2,166千羽（21%）
- ⑤ 出荷動向
- ・ 令和 5 年 鶏卵生産量169,898t（対前年比95%）
- 【動向】 年々，増加傾向で推移していたが，令和 3 年からは減少。
- ・ 令和 5 年度 鶏卵価格276円/kg（対前年比110%）
- 【動向】 令和 3 年から上昇傾向。
- ⑥ 流通動向（令和 5 年度）
- ・ G P センター 6 か所，鶏卵処理量 124,698t
- ⑦ 採卵鶏経営の収益性（令和 5 年度）
- 経営費は増加したが，鶏卵価格が上昇したことから所得は増加。

出典 ①，②，③ 農林水産統計「畜産統計」
④，⑥県畜産課調べ
⑤ 農林水産統計「鶏卵流通統計」，JA全農たまご東京M基準



1 飼養戸数, 飼養羽数の推移(鹿児島県)

年次 区分	昭和60	平成2	7	12	17	22	令和3	令和4	令和5	令和6
飼養戸数(戸)	15,100	9,980	410	270	221	173	116	103	93	98
対前年比(%)	94	88	103	100	83	107	97	89	90	105
飼養羽数(千羽)	8,436	9,769	10,551	10,593	10,273	9,079	12,008	11,731	11,582	10,196
対前年比(%)	102	98	97	98	93	94	102	98	99	88

注) H3年以降は飼養規模300羽以上, 10年以降は飼養規模1,000以上の飼養者が調査対象

注) 種鶏のみの飼養者を除く

2 1戸当たり飼養羽数の推移

(単位: 羽)

年次 区分	昭和60	平成2	7	12	17	22	令和3	令和4	令和5	令和6
1戸当たり(県)	559	979	25,734	39,233	46,484	52,480	103,517	113,893	124,538	104,041
対前年比(%)	108	111	95	98	112	88	105	110	109	84
1戸当たり(全国)	1,354	2,046	25,221	33,483			96,233	99,501	100,479	102,804
対前年比(%)	108	107	106	103	—	—	112	103	101	102

注) H3年以降は飼養規模300羽以上, 10年以降は飼養規模1,000以上の飼養者が調査対象

H17は「農林業センサス」実施年のため未公表

3 鶏卵生産量と卸売価格の推移

年次 区分	昭和60	平成2	7	12	17	22	令和2	令和3	令和4	令和5
生産量(トン)	112,310	142,737	154,020	168,926	162,893	167,301	190,021	183,220	179,337	169,898
対前年比(%)		104	98	104	99	104	101	96	98	95
価格(円/kg)	264	228	186	189	204	187	170	215	251	276
対前年比(%)	105	104	98		99	107	93	127	117	110

注) 生産量は出荷量に種卵及び自家消費を加えた数量

価格は年度ごとの平均, 東京M(税抜)